

第4回人づくりコンテスト 消火器位置表示の視認性向上

優秀賞



After
①ビーポップによって出力したシートを柱に巻くことで全方向から見えるようにした。②消火器を連想させるピクトグラムを採用することで外国人技能実習生でも直感的に分かるようにした。③表示はすっきり、目立つようにした。こうした改善の結果、離れていても誰でも消火器の位置がすぐ分かるようになった。

Before
既存の柱周りの「消火器」表示板では、①柱の裏からは見えない。②外国人技能実習生は漢字「消火器」が読めない、といった課題があった。

離れたみると効果は歴然

安全表示で

人づくり

ビーポップを活用した安全活動事例

第20回

三協立山株式会社(三協マテリアル社 射水工場)

会社概要

●本社所在地:富山県高岡市 ●設立:1960年 ●従業員数:連結10,358名/単体5,037名(2021年11月30日現在) ●射水工場所在地:富山県射水市 ●工場竣工:1969年 ●射水工場従業員:734名(派遣含)/その他123名(2021年11月30日現在) ●事業内容:アルミニウムの押出・表面処理・加工、およびマグネシウムの押出・加工

社員の正しい行動を後押しする そこに安全表示の意義がある

富山県高岡市に本社のある三協立山(株)は、住宅や商業施設などの建設に欠かせないアルミ建材の大手であり、1960年の設立以来、常に業界を牽引してきたリーディングカンパニーです。なかでも三協マテリアル社射水工場は同社最大の規模を持つ生産拠点。最近では世界初の試みであるアルミの水平リサイクルへの取り組みに参画し、新幹線の廃棄車両から使わなくなったアルミを抽出し、循環させて新幹線に再利用する実証に成功するなど、環境への取り組みも積極的にを行っています。

そんな同工場では、「安全は全てに優先する」を掲げて安全活動を行っています。そこで、同工場の嶋田正明工場長と安全環境課の平木健一課長、そしてビーポップ導入とコンテスト参加を主導された木澤寛さんに安全表示に関するお話を伺いました。

安全活動において同工場が力を入れているのは、安全に強い人づくりと危険性低減活動の推進の2つです。具体的には危険感受性向上のための施設「危険体感道場」を2018年に設置。挟まれ災害、転倒災害、腰痛などが体感できる装置を10台揃え、危険の疑似体験ができるようになっていきます。体感だけではなく、展示パネルによって過去の事例に基づいて災害の内容、要因、不安全行動を提示し、どうして事故が起ったのかを解説しています。さらに「KY

自発的な安全活動を促すことで 三大災害、火災ゼロを継続

「これまでは設置管理が不十分で、必要なもの現場にあるなどでしたが、最近の巡回では設置管理がされてきて、必要なものがすぐに取れるような状況になってきました。かなり改善されてきたと思います。」と嶋田さんは手応えを感じています。

同工場の安全活動は、「上から教えるのではなく、潜在リスクを自分たちで見つけられるよう、後押しすることに主眼をおいています」と平木さん。その姿勢が端的に表れているのが、毎年7月と12月に行われている「指差し呼称推進月間」でのセルフチェック運動です。これは工場の中で「こは必ず指差し呼称」という場所を決めておき、そこでどれだけの割合でできたかを自分で評価してチェック表に書いてもらうという取り組みです。「所属長がこれを確認していますが、現在では97〜98%ぐらいが実施できるようになりました」と平木さん。こうした地道な活動の結果、三大災害(挟まれ、転倒、切れ)は2年間ゼロ、火災は6年間ゼロを継続中です。

ビーポップのデザインを標準化 データベースとして活用

同工場ではビーポップを導入して安全

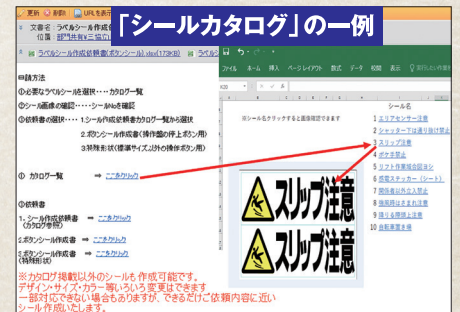


三協立山(株) 三協マテリアル社
射水工場のみなさん
左から平木さん、嶋田さん、木澤さん

※撮影のために十分な感染症対策を行った上で一時的にマスクを外していただきました。

※アルミの水平リサイクル:東海旅客鉄道株式会社が中心となり進めてきた取り組み。新幹線の廃棄車両から選別・抽出した再生アルミを三協マテリアル社で鋳造・押出した形材が、東海道新幹線新型車両N700Sの荷棚材として採用されている。(三協マテリアル社HPより)

表示を作成するだけでなく、工場内のインターネットに「シールカタログ」というデータベースを設置、そこから標準化した安全表示を発注できるという先進的な取り組みを行っています。カタログ一覧に項目が22あり、そこから選択すると画像が見られます。それを見て注文書にサイズ、枚数などを記入して安全環境課へ送信すれば、ビーポップで作成した安全表示が配布されるという仕組みです。木澤さんは「今後も現場の人たちの意見を十分に聞いて、『作業者が望ましい行動を自発的に取れること』を目指していきたい」と強調します。



お問い合わせ マックス株式会社 オフィスプロダクツ営業部 安全表示・人づくりコンテスト事務局

人づくりコンテスト

検索

TEL:03-3669-8108(代) Mail:anzen@max-ltd.co.jp